

平成 29 年度

東京国立博物館 スクールプログラム

東京国立博物館スクールプログラムは、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが
日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。
博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。

展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、より深いものになるように工夫されているので、
博物館ならではの学習の醍醐味を感じていただけるはずです。

図工・美術・歴史の授業はもちろん、総合的な学習の時間、キャリア学習、
修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などにも活用してください。

対象：小・中・高等学校 / 参加人数：1名～380名 / 火～金曜日 10:00～17:00



「見返り美人図」菱川師宣筆 江戸時代・17世紀

東京国立博物館について

- ▶ 明治5年(1872)、日本で最初にできた博物館です。
- ▶ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常に3000～4000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ▶ 収蔵品の数は11万6000件以上、国宝87件、重要文化財634件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(収蔵数は2016年4月現在)。
- ▶ 教科書でおなじみの“あの作品”があるところ。ほんものをじっくり見てみよう。

〔重要文化財〕遮光器土偶
縄文時代(晩期)
前1000～前400年
青森県つがる市
木造亀ヶ岡出土
通年展示



〔重要文化財〕伝源頼朝坐像
鎌倉時代・13～14世紀
2017年7月25日～10月22日



〔国宝〕竜首水瓶
飛鳥時代・7世紀
通年展示



〔重要文化財〕麗子微笑
岸田劉生筆
大正10年(1921)
2017年7月11日～10月1日

※作品保護のため定期的に展示替えを行っており、展示期間は限られています。展示期間の変更もありますので、ご来館の展示作品については、あらかじめウェブサイト等で確認ください。

博物館見学の前に

- ▶ ウェブサイトで博物館のことを調べてみよう。

東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>

「どんな作品が見られるの？」
「開館時間は？ 料金は？」
「トーハクの歴史は？」
「今日はどんなイベントがあるの？」



ユリノキちゃん

- ▶ 持ち物を確認！

博物館で必要なもの、ちゃんと持った？
☐ 学生証・生徒手帳
☐ 鉛筆 (ボールペン・シャーペンは×)
☐ ノート



トーハクくん

- ▶ 博物館への行き方、集合場所、時間は？



博物館では

- ▶ じっくりゆっくりみてみよう。

東京国立博物館には、たくさんの展示館があります。見学するテーマや作品はなるべくしぼっておこう。好きな作品をみつけたら、いろんな方向からみてみよう。ほかの時代や地域のものとは比べて見るのも面白いよ。

- ▶ 博物館からのおねがい。

たいせつな文化財を100年後、1000年後の人々に伝えるために、次のことに協力してください。

- ❗ 光・熱からまもるために

展示室は暗くしてあるので気をつけて。
写真を撮るときは、フラッシュは禁止です。
特別展や📷マークのついた作品は撮影禁止です。

- ❗ 汚さないように

インクのでるペンは禁止。鉛筆を使おう。
(シャープペンシルも禁止です)

- ❗ こわさないように

触らない、走らない。大きな荷物、長い傘は持ち込まない。

- ❗ 虫からまもる

飲食は決められたところで。

博物館のガイダンスや鑑賞の入門に

所要時間：プログラム 30 分 + 自由観覧 60 分以上
参加人数：380 名まで



鑑賞をより深めるために考えられたプログラムです。
学校の授業や行事、児童・生徒の興味にあわせて、
5つのコースから1つを選択してください。
プログラム終了後は自由観覧となります。

A はじめての東博

はじめて東京国立博物館に来館する児童・生徒のためのガイダンスです。博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナー、本館を中心としたその日に見られるおすすめの展示作品や日本美術の楽しみ方を、当館ボランティアスタッフが紹介します(60名以上の場合は研究員が対応)。



B はじめての日本美術

はじめて日本美術にふれる児童・生徒のためのガイダンスです。本館を中心に、その日に見られるさまざまな時代のおすすめの展示作品を通して日本美術の特徴や楽しみ方をご紹介します。



[国宝] 観楓図屏風
狩野秀頼筆
室町~安土桃山時代・16世紀

C はじめての東洋館

アジアの国々を旅するように、中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、エジプトなど東洋の美術、工芸、考古の作品、見どころをご紹介します。世界史の学習におすすめです。

左:パシェリエンブタハのミイラ 第22王朝・前945~前730年頃 エジプト
エジプト考古庁寄贈
右:[重要文化財] 青磁輪花碗 銘 馬蝗綵 中国・龍泉窯 南宋時代・13世紀
三井高次氏寄贈



D はじめての考古展示室

考古学って何? 展示されているものはどんな所からみつきり、そこから何がわかったの? 縄文時代から江戸時代の発掘品まで、考古学のおもしろさ、見どころを解説します。

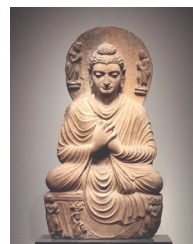
左:火焰型土器
縄文時代(中期)・前3000~前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土
右:[国宝] 銅鐸
弥生時代(中期)・前2~前1世紀
伝香川県出土



E はじめての仏教美術

仏像の種類、役割、制作された時代による違いなど、仏教美術の基礎を仏像を中心に解説します。京都・奈良などの修学旅行の事前学習に適したプログラムです。

左:如来坐像
クシャーナ朝・2~3世紀
パキスタン・ガンダーラ
右:[重要文化財] 大日如来坐像
平安時代・11世紀



Program ② 対話型ギャラリートーク

TOTAL 90 min~

展示室での鑑賞体験をより豊かなものに

所要時間：プログラム 30 分 + 自由観覧 60 分以上
参加人数：8 名まで



展示作品をひとつ選んで、研究員との対話を通して鑑賞するプログラムです。プログラム終了後は自由観覧となります。

じっくり見る東博

博物館研究員と一緒に展示室でほんものの作品を鑑賞するプログラムです。生徒たちの興味・関心を引き出しながら、ひとつ（あるいは1テーマ）の作品をじっくり見る対話形式のギャラリートークです。グループで意見交換をし、いろいろな見方を通して、作品鑑賞の幅を広げてください。

A～D からテーマを選んでください
(とりあげる作品は、当日の展示作品から館が選択します)。

A



古代の造形
(土器、埴輪など考古遺物)

B



いのりの美
(仏像など)

C



日本の絵画
(浮世絵・屏風・襖絵・掛軸など)

D



むかしのくらしと美
(陶磁・漆工品など工芸作品)

Program ③ 見学ガイドアプリの貸し出し

TOTAL 90 min

タブレットで新しい“博物館”体験

所要時間：プログラム 90 分程度
参加人数：50 名まで



※画面はイメージです。

学校版 トーハクナビ

タブレット端末による博物館見学ガイドアプリを使って、本館を見学するプログラムです。感想やその場で撮影した画像を入力すれば、レポート（レポート形式または新聞形式）の作成もできます。

(プログラム中はスタッフの立会いはありません)



タブレットで撮影した写真

感想を入力します

レポート見本

伝統文化に“触れる”体験型プログラム

所要時間：各コースで異なります
参加人数：各コースで異なります



作品の取り扱いやものづくりを通して、日本の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作のきっかけとなり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

A 学芸員体験

プログラム 60 分以上 + 自由観覧 60 分以上
参加人数：10 名まで

絵巻物の取り扱いや、調書作成、撮影、展示作業など、学芸員の仕事を体験します。文化財の大切さを実感し、作品をじっくり見る気持ちを養うことにもつながります。



B 伝統もようのお皿づくり

プログラム 150 分以上（自由観覧時間を含みます）
参加人数：20 名まで

展示作品を見学しながら、日本の伝統的なもようをスケッチし、それを陶芸用のサインペンで、お皿にデザインします。作品鑑賞を通して伝統もようを学び、お皿に表現することでデザイン力を身につけ、古美術に親しむことができます。部活動でもご利用ください。お皿は焼成後、後日郵送いたします（着払い宅配便使用）。

C もようスタンプでデザインしよう

プログラム 60 分以上 + 自由観覧 60 分以上
参加人数：20 名まで

日本の伝統もようのスタンプを使って、ポストカードをデザインします。もようの意味や組合せを知り、配置の仕方を工夫してください。ワークショップを通して、展示作品に表されたもようやモチーフに、より興味をもつことができます。



展示室でみた作品をモチーフに、色合いを変えて描いてみました。

染付羊歯文大皿

生徒の作品

帷子 白茶麻地紗綾形花の丸模様

富士薄名月柄鏡

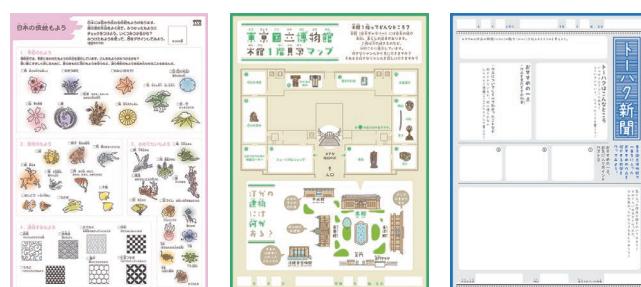
同じ作品をモチーフにしても、お皿のしあがりはさまざま。

生徒の作品

ワークシートのご案内

見学した内容をまとめる新聞形式のワークシートや、日本の伝統もように注目したワークシートをご用意しました。自由観覧のおともに、あるいは事後学習にもお使いいただけます。ワークシートは必要枚数をご連絡いただければ送付いたします。また、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> よりダウンロードしていただくことも可能です。スクールプログラムと組み合わせてご活用ください。

※ワークシートの内容は変更の可能性があります。



生き方、働き方と向きあうプログラム

所要時間：プログラム 30 分 + 自由観覧 60 分以上
参加人数：A・10 名まで B・380 名まで

自分の役割や生き方、働き方を考えるキャリア学習では、社会や職業の現場でのさまざまな経験から生まれる多様な気づきや発見が重要視されています。

また、博物館の仕事を垣間みることがいつもと違う博物館の楽しみ方を教えてくれるかもしれません。

プログラム終了後は自由観覧となります。



休館日の展示替え



作品の調査の様子

A 博物館の裏側インタビュー

博物館で働くようになったきっかけ、失敗談ややりがいはもちろん、博物館の仕事や運営について、博物館研究員に直接インタビューすることができます。訪問の際のマナーの確認などもできますでしょう。

※1 週間前までに質問事項を FAX でお送りいただきます。

B 博物館の仕事ガイダンス

博物館の運営、役割、組織について、展覧会ができるまで、展示室での文化財保護のための工夫など、博物館の仕事について画像を使ってお話しします。どんな人たちがどんな仕事をしているのか、どのように協力し合っているのかを知りたい方に最適です。プログラム A（博物館の裏側インタビュー）と組み合わせることもできます。

職場体験の受け入れも実施しています

学校におけるキャリア教育の一環として実施される職場体験の受け入れを行っております。当館のボランティアとともに、お客様のご案内や、体験コーナーの運営補助など、お客様サービスに係る仕事を体験します。外国人を含むさまざまな来館者に接することで、国際性を養い、コミュニケーション力を高めることができます。さらに、ボランティアとともに活動することにより、異世代間交流もはかれます。また、展示室では日本や東洋の古美術や伝統文化を身近に感じることができます。生徒の皆さんのキャリア学習にぜひお役立てください。



【受け入れのガイドライン】

活動日時：火～金曜日 10:00～17:00
(ただし、休館日、お盆、年末年始期間、イベント時など、実施できない期間もあります。)

活動期間：連続した2～4日間

対象：中学生・高校生

受け入れ人数：1校につき2～4名まで

申込方法：事前申込制(先着順)

別途、詳細案内と申込書を用意しております。まずはお電話で日程をお問い合わせください。
(平成29年度の受付は4月10日(月)10:00～開始)
※学校団体以外からの申し込みはお受けできません。
※事前学習の一環として、博物館からの課題があります。

職場体験のお問い合わせ、申し込みは、博物館教育課ボランティア室まで。
TEL 03-3822-1111(代表)
月曜日～金曜日(平日のみ) 10:00～17:00

学校の先生方へ

▶▶ 博物館の情報と下見について

教育普及室(TEL:03-3822-1111代表)までお問合せください。

[博物館について知りたい場合]

当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)をご覧ください。また、年に数回、学校の先生方を対象に、スクールプログラム利用法や博物館での鑑賞教育について研修を開催しています。当館ウェブサイト(TOP≫教育≫学校の先生方へ)で案内しますのでご覧ください。

[下見をご希望の場合]

教育活動のための下見は入館無料です(総合文化展のみ)。正門にてお申出ください。簡単な書類にご記入いただきます。下見は開館日のみ、入館は閉館の30分前までです。特別展は別途料金が必要です。

▶▶ スクールプログラム申込方法

平成29年度の受付開始は平成29年2月6日(月)

スクールプログラムは事前予約制(先着順)です。お申込は必ず学校の先生からお願いします。

1	来館2週間前まで ・電話問合せ	来館希望日時、人数、希望コース、学習内容などを伺います。 その時点での予約状況について回答します。
2	来館10日前まで ・申込書提出	巻末の申込書をファックスでお送りいただくか、当館ウェブサイトの申込フォームで申し込んでください。これが正式な申込となります。先着順で受け付けます。
3	申込書受領後 ・博物館から電話連絡	教育普及室より、スクールプログラム実施の可否等について連絡をします。 これで予約完了です。
4	来館1週間前 ・参加証の受け取り	集合場所、時間などについて最終確認のための参加証を送付します。 児童・生徒、他の先生方にもご周知ください。
5	来館当日 ・スクールプログラム受講	参加証を持参の上、ご来館ください。到着遅延の場合は必ずご連絡ください。 ご到着時に生徒、教員の人数の確認をさせていただきます。
6	後日 ・アンケート	今後のスクールプログラムに活かすため、ご意見、ご感想をお聞かせください。

※自由観覧を希望の場合、事前予約は特に必要ありませんが、展示内容や混雑状況をもとに入館時間や観覧方法についてアドバイスさせていただく場合もありますので、教育普及室までご連絡ください。

▶▶ よくある質問

▶入館料について

総合文化展は高校生以下無料です。ただし、生徒証・生徒手帳の確認をいたします。また、学校の教育活動で来館された場合、およびその下見は、先生も無料です。特別展観覧料は別途お問合せください。

▶スクールプログラムの参加費について

原則として無料です。

▶バスの駐車について

有料駐車場があります。お問合せください。(要事前予約)

▶展示替えについて

総合文化展は、文化財保護のため、定期的に展示替えを行っています。目的の作品が必ず見られるとは限りません。

▶障がいをもつ児童・生徒への対応について

特別な支援が必要な児童・生徒の皆様にも多くご来館いただいています。まずは教育普及室にご相談ください。どんなことができるか、先生と一緒に考えてみたいと思います。当館ウェブサイト「バリアフリー情報」もご参照ください。また、別途盲学校の生徒のためのスクールプログラムも実施しています。詳しくは、パンフレットあるいは当館ウェブサイトをご覧ください。

開館時間

9:30～17:00(入館は16:30まで)

総合文化展は毎週金曜日・土曜日は20:00まで。特別展の開場時間については別途お問合せください。黒田記念館は17時まで開館。(入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日(ただし月曜日が祝日または休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始。

※ゴールデンウィークとお盆期間中は原則無休。

※休館日、開館時間等はイベント等により変更されることがあります。最新情報等は、当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)でご確認ください。

問合せ先

東京国立博物館教育普及室

TEL:03-3822-1111(代表)

FAX:03-3822-3010(FAX専用)

トーハク
平成29年度東博スクールプログラム申込書

申込受付期間：平成29年2月6日～平成30年3月20日

東京国立博物館 教育普及室 宛



平成 年 月 日

TEL : 03-3822-1111 (代表) FAX : 03-3822-3010 (FAX専用)

来館日時 月 日 曜日 滞在時間 時 分 ～ 時 分

* 火～金の平日、10:00～17:00

プログラム開始時間

時

分

(ふりがな)

学校名

学年

年

(ふりがな)

先生の名前

(ふりがな)

代表生徒名 * 引率がない場合必須

学校の住所 (〒 ー)

電話番号

FAX番号

当日の連絡先

(担当の先生が持つ携帯電話の番号など)

人数 生徒 人 + 引率教員 人 + その他(保護者・添乗員、入館有料) 人 = 合計 人

スクールプログラム

1. 遠足・社会科見学

2. 修学旅行

3. 各教科の学習(科目:

)

参加の目的

4. 総合的な学習の時間

5. クラブ活動(

部) 6. その他(

)

スクールプログラムコース (全15コースの中からひとつを選び、○をつけてください)

1 レクチャー

A はじめての東博

B はじめての日本美術

C はじめての東洋館

D はじめての考古展示室

E はじめての仏教美術

2 対話型ギャラリートーク

じっくり見る東博(下記から希望のテーマを選んでください)

A 古代の造形(考古)

B いのりの美(仏像)

C 日本の絵画

D むかしのくらしと美(工芸)

3 見学ガイドアプリの貸出し

学校版 トーハクナビ(本コース専用の申込書も別にご提出ください。詳しくはお問合せください)

4 ワークショップ

A 学芸員体験

B 伝統もようのお皿づくり

C もようスタンプでデザインしよう

5 キャリア学習

A 博物館の裏側インタビュー

B 博物館の仕事ガイダンス

ご希望 ☐ 特別展の見学 (展覧会名:)

☐ 事前打ち合わせ (月 日 時 分～)

* 下見にはお申込の必要はありません。
正門で手続きの上、ご入館ください。

* 各プログラムに参加するための必要滞在時間を満たしているか、ご確認ください。
* 先着順で受付しています。先に予約が入っていた場合、お断りすることがあります。
* 受付は、実施日の10日前で締め切ります。
* 休館日、お盆、年末年始期間、イベント時など、プログラムを実施できない期間もあります。

東京国立博物館スクールプログラム / 2017年2月発行 / 編集: 東京国立博物館教育普及室 / 発行: 東京国立博物館 / デザイン: Biotops

東京国立博物館

TEL: 03-3822-1111 (代表) FAX: 03-3822-3010

URL <http://www.tnm.jp/>

